

次期五島市人口ビジョン・総合戦略策定方針（案）

1. 策定目的

五島市（以下「本市」という）では、令和元年度に策定した「五島市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略〔計画期間令和2年度～令和6年度〕（以下「総合戦略」という）」に基づき行政運営を行っている。

こうした中、国は、令和4年12月に、デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化させ、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会の実現に向けて、国の総合戦略を「デジタル田園都市国家構想総合戦略」（令和5年度～令和9年度）に変更し、令和5年4月にスタートさせた。

次期総合戦略では、国の総合戦略等を勘案し、引き続き人口減少を抑制しながら、本市を取り巻く社会情勢や多様化する市民ニーズを総合的に踏まえ、本市が目指すべきビジョンを明らかにし、そのビジョンを達成すべく今後5年間の具体的な政策・事業を示す計画として策定するものである。

2. 総合戦略の概要

（1）戦略の特性

- ・ 本市が目指すべき理想像（地域ビジョン）と、その実現のための具体的な施策・事業を示した市の最上位計画
- ・ 事務事業評価と連動した市政運営の進行管理の中心となる計画

（2）計画期間と構成

- ・ 計画期間は、令和7年度を初年度とする5年間とし、目標、基本的方向、分野別政策・施策・主要事業、数値目標（KPI）等で構成する。なお、数値目標は必要に応じて随時改訂を行う。
- ・ 総合戦略は、2015年9月の国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で示された具体的行動指針である「持続可能な開発目標」（SDGs）の理念を踏まえ、五島市総合戦略にその要素を最大限反映させる。

（3）策定方針

①市民・事業者の意見を取り込んだ総合戦略

- ・ 市民及び事業者の意見を最大限に取り込んだ総合戦略とするため、市民アンケートのほか、高校生アンケート、事業所アンケート、ワークショップ等を実施するなど、多様な市民参加の場を設ける。

②データに基づく客観性のある総合戦略

- ・ データに基づく課題分析や施策・事業の立案を行うとともに、進行管理の基本となる数値目標（KPI等）を設定する。

③職員参加による総合戦略

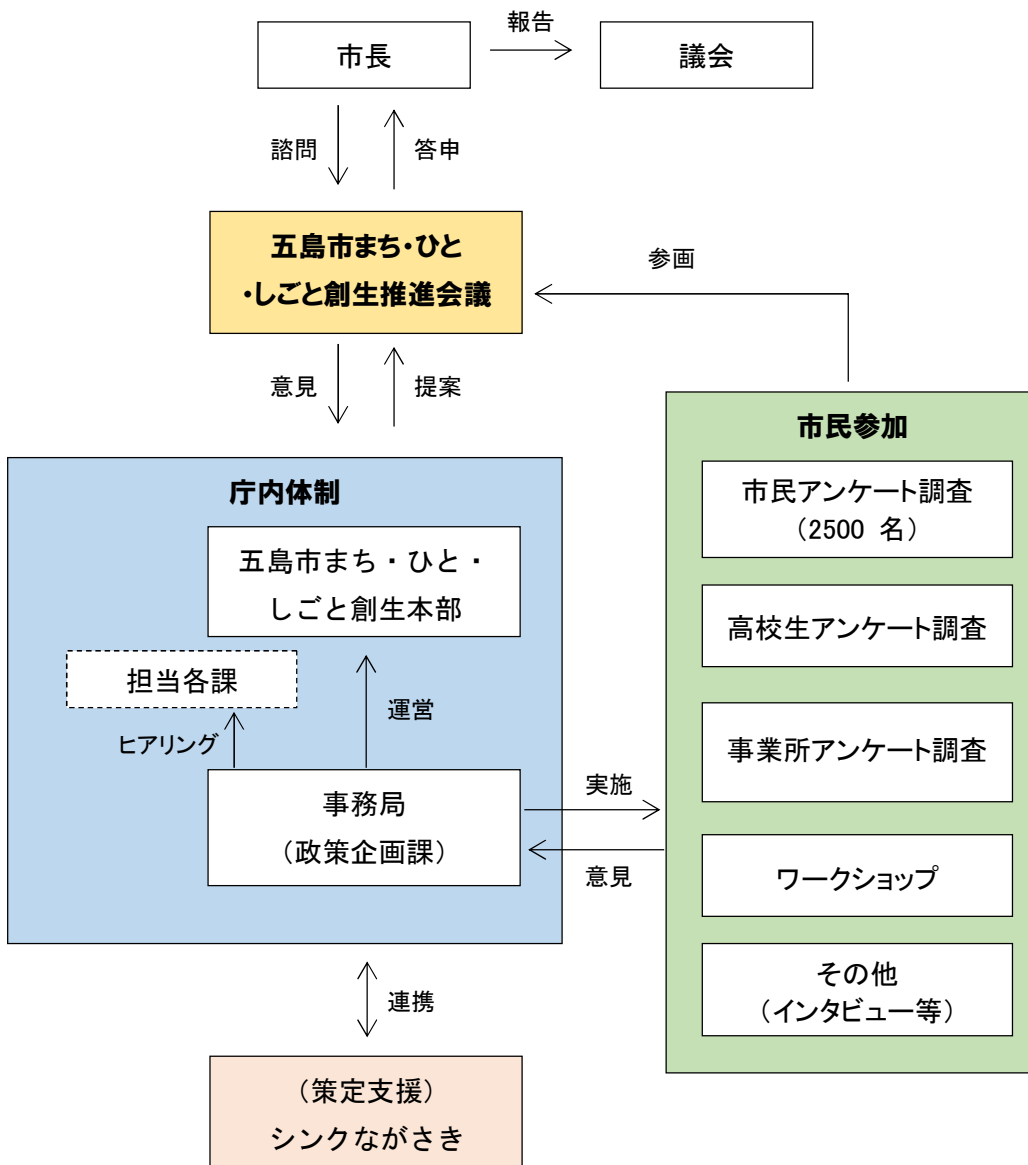
- ・ 職員自らが課題を分析し施策・事業立案を行うことを基本に、各課ヒアリング等の多様な職員参加の場を設定する。

3. 進行管理方策

- ・ 事業の進捗管理や目標の達成状況を計る指標として、政策レベルでは数値目標、主要事業レベルでは重点業績評価指標（KPI）を設定し、毎年度進行管理を行う。
- ・ また、毎年度市民満足度調査を実施し、市民意向の戦略へのフィードバックを行う。

4. 策定体制

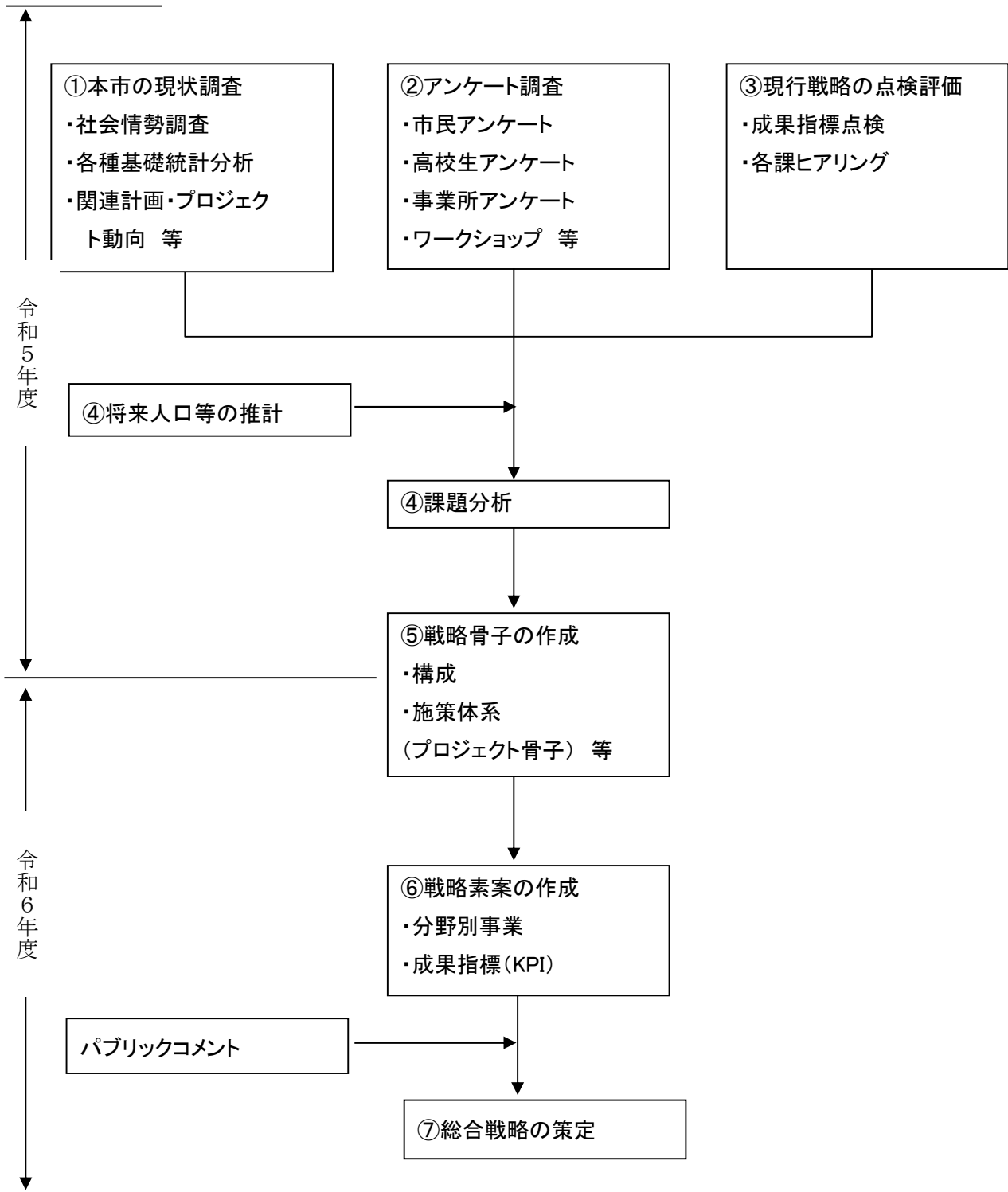
- ・ 総合戦略策定にあたり、五島市まち・ひと・しごと創生推進会議を開催し、専門視点からの検証と戦略の立案を行う。
- ・ 総合戦略へ市民及び市内事業者の意見を最大限に取り込むため、市民アンケート調査のほか、高校生アンケート、関係機関・事業所アンケート調査、ワークショップ等を実施する。
- ・ 庁内の検討体制として、五島市まち・ひと・しごと創生本部を開催し各種調整を行うほか、現行総合戦略の進捗状況分析や課題、事業立案のための各課ヒアリング等を実施する。



5. 策定フロー・策定スケジュール

(1) 策定フロー

- ・ 令和5年度は、基礎調査及び課題分析段階として、現況調査、アンケート調査、現行戦略の点検評価、将来人口シミュレーションを行い分野別課題の整理を行う。
- ・ 令和6年度は総合戦略策定段階とし、プロジェクト及び個別事業の立案を行う。



(2) 策定スケジュール

		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
基礎調査	現況調査	→												
	アンケート調査 ワークショップ等	→	→											
	現行計画点検評価	→												
	将来人口シミュレーション	→	→											
	課題分析	→	→											
戦略策定	計画骨子の検討(試案)		→	→	→									
	総合戦略素案の作成					→	→	→	→	→				
	パブリックコメント									→	→			
	総合戦略最終調整・策定										→	→		
	印刷製本												→	→
まち・ひと・しごと創生推進会議		◎		◎		◎			◎					